

自動車リサイクルの「情報発信・共有の在り方等に関する報告書」取りまとめと今後の取組

- 公益財団法人自動車リサイクル促進センター[東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 代表理事:郡嶋孝](以下、「JARC」という。)は、合同会議^{*1}で示された自動車リサイクルの業界における情報発信・共有の取組に関する課題について検討を行うため、有識者、消費者、自動車リサイクルの業界団体等による検討会を設置した。
- 自動車リサイクルの業界が適切に情報発信・共有に取組み、そして国民・ユーザーによる認知の向上と理解の深化が図れるように、情報発信・共有の在り方について検討を行い、その結果を「情報発信・共有の在り方等に関する報告書」^{*2}として取りまとめ、2016年11月28日に公表した。
- 今後、JARC は自治体を始めとして自動車リサイクルの関係者と連携しながら、自動車リサイクルシステムの更なる発展に向けて理解活動に取り組む。

1. 検討のポイント

- 関係主体の役割の整理
 - 情報発信・共有の要請に対して柔軟に対応していくためには、関係主体による自主的かつ発展的な対応と積極的な相互連携による取組の円滑化が重要
 - 自動車リサイクル法上の関係主体の役割を基に、情報発信・共有の役割について整理を実施
- 情報発信・共有の取組を行うにあたり、前提とすべき考え方の整理
 - 留意すべき情報の特性を「発信者が主体的に考えて対応すべき事項」と「発信者が受信者の意向を踏まえて対応すべき事項」とに区分し、特に意識すべき重要な情報の質的特性を基本原則として整理

2. 検討会メンバー構成

(座長) 永田 勝也 早稲田大学名誉教授
織 朱實 上智大学大学院地球環境学研究科教授
大石 美奈子 (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
(一社)日本自動車連盟
(一社)日本自動車工業会
日本自動車輸入組合
(一社)日本自動車販売協会連合会
(一社)全国軽自動車協会連合会
(一社)日本中古自動車販売協会連合会
(一社)日本自動車整備振興会連合会
(一社)日本ELVリサイクル機構
愛知県
(事務局)(公財)自動車リサイクル促進センター
経済産業省
環境省

*1 産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 自動車リサイクルワーキンググループ、中央環境審議会 循環型社会部会 自動車リサイクル専門委員会

*2 「情報発信・共有の在り方等に関する報告書」の[原文](#)



(本発表資料のお問い合わせ先)
公益財団法人自動車リサイクル促進センター
担当 : 橋本、小久保
電話 : 03-5733-8300